
マッドドッグ

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マッシュドッグ

【データ】

N2053Q

【作者名】

ほんライス

【あらすじ】

違法いたずら集団「マッシュドッグ」のクレイジーでお茶四把口々
.....。

駅前お寿司事件（前書き）

前書きが穴に落ちた

駅前お寿司事件

不法いたずら集団「マッドドッグ」を知ってるかい？

警察もお手上げのやんちゃなやつらだ。

本日、午後八時。保育園の前にある公園にメンバーが集まる。ひとりわでかい男。2メートル近く。スキンヘッドでひげを生やしサングラスをかけ、黒い服を身にまとっている。マッドドッグのリーダー豆川ジョン一だ。

「いいかお前ら。今から駅前に行くぞ」

「おーっ」

マッドドッグメンバーは一輪車にまたがり、すごいスピードで歩道を走る。

駅前広場に到着。時刻は午後八時半。

マッドドッグメンバーは一輪車を噴水の前に停める。マッドドッグメンバーは机を広げ、その上に酢飯の入った桶と、マグロやサバを置く。

そして、素早く握る。

握った寿司を次々と通行人に配る。

みんな迷惑してる。ついには警官がやってきた。

「こらお前ら。妙なことをするんじゃない」

マッドドッグメンバーの一人が警官の口にサバ寿司をねじこんだ。「もぐもぐもぐ。けつこつぱい」

怒るに怒りにくい警官である。不味かつたらもつと怒れるが。「だけど公共の場で勝手に寿司を配るのは違法だ。逮捕する」全員、手錠をかけられた。

翌日、新聞の二面記事に載つた。意外とマッドドッグは読者に人気があるので、新聞社は密かに喜んでいる……。

駅前お寿司事件（後書き）

後書きをおにぎりに入れると意外に旨い

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2053q/>

マッドドッグ

2011年1月18日21時52分発行